



11月13日

さまざまな学びに触れられた1日
図書館まつり2022

☎ 中央図書館 ☎049-252-5825

子ども読書コンクールの表彰式や、28年前の中央図書館開館時に設置したタイムカプセルの開封と20年後に向けたメッセージなどの封入が行われました。また、「おそとでおはなしかい」や絵本作家・とよたかずひこさんによる親子講演会などが行われ、来館者の方々は普段とは違う図書館を楽しみました。



10月30日～11月13日

市民の皆さんが作った文化芸術が盛りだくさん
第59回富士見市民文化祭

☎ 文化・スポーツ振興課 ☎049-257-6352

キラ☆ふじみで行われた本事業は、コロナ禍により3年ぶりの開催。市民の皆さんが日ごろの文化芸術活動で作上げた華道、書道、絵画、彫塑などの作品が集まり、来場者の多くが感嘆の声を漏らしていました。また、民謡やコーラスの発表なども行われ、多様な市民文化が花開いた2週間となりました。



11月19・20日

全世代が楽しめる市民参加型音楽祭
FUJIMI☆音楽祭

☎ 文化・スポーツ振興課 ☎049-257-6352

多くの市民や市にゆかりのあるアーティストが出演する、クラシックからジャズまで幅広いジャンルのコンサートが開催されました。1日目の終わりは市に住んでいたこともある世界的ジャズピアニスト・宮本眞奈氏が、音楽祭のフィナーレでは富士見市文化芸術アドバイザーの北原幸男氏が指揮する日本フィルハーモニー交響楽団が演奏し、両日ともに拍手が鳴りやみませんでした。



11月27日

心ほぐれる家族のストーリー
朗読劇「家族草子」

☎ 文化・スポーツ振興課 ☎049-257-6352

家族草子は、台本を手にしながらの演技に、ギターなどの生演奏を加えた独自のエンターテインメントです。主宰は、多数のミリオンセラー楽曲の作詞を手掛けた森浩美氏。切なさやあたたかさに包まれた家族のストーリーと熱のこもった演劇に、客席は涙と感動が溢れていました。



11月26日

子どもたちが50年後の未来を語る
青少年の主張大会

☎ 生涯学習課 ☎049-252-7138 学校教育課 ☎621

「50年後の富士見市～こんな富士見市になったらいいな～」をテーマに、市内小・中・特別支援学校、富士見高校から選出された児童生徒が、さまざまな観点から日ごろ感じていることや未来への希望などを発表しました。それぞれが発表内容だけでなく伝え方も工夫し、自分の考えを発信していました。



11月6日

ルールの分かりやすさと親しみやすさで人気
バドテニス大会

☎ 文化・スポーツ振興課 ☎049-252-7139

バドミントン、テニス、バレーボールを混合した富士見市発祥のニュースポーツ「バドテニス」の大会が行われました。富士見市PR大使の千種ゆり子さんがゲストとして参加し、大会を盛り上げました。誰でも気軽に楽しめるバドテニスを通して、参加者は勝利を目指して戦いながら交流を深めていました。



11月3日

稲刈りを終えた田んぼが会場の農業イベント
なんばた青空市場

☎ 南畑公民館 ☎049-251-5663

秋 晴れの空の下、南畑地域の「農」が集まるなんばた青空市場が3年ぶりに開催されました。会場では、新鮮野菜の販売やだいこんの重さ当てクイズ、トラクターの試乗体験、さんだら(米俵のふた)飛ばしなどが行われ、来場者は秋の味覚に舌鼓を打つとともに、地域の農業に親しんでいました。